



こんにちは、IELTS 公式テストセンター：JSAF（ジェイサフ）、大阪オフィススタッフです。

このコーナーではJSAFでIELTSを受験いただいた受験生からとの対談インタビューを掲載いたします。

第2回目の今回は前回のテーマは「コロナ禍でのIELTSとの向き合い方」のクロストークの後編をお届けします。JSAF（ジェイサフ）にて実際にIELTSテストを受けた感想を振り返りながら、これから受験される方へのアドバイス、また将来へ向けてのお二人の夢についてを紹介いたします。※当記事は、オンラインで実施した受験者インタビューをまとめたものです。

JSAF（ジェイサフ）で体感したメリット—

- 初IELTS前日の心境はいかがでしたか？（前日・感想など）

T どのように受付をするのかがわからず気になっていました。

S マークシートが一般的だと思っていたので、自身の力で通用するかが心配でした。また、普段はアメリカ英語に慣れているので、様々な英語のアクセントが出題されることも少し不安な気持ちがありました。

- 試験の1回目の当日の朝はどうでしたか？

S オンライン模試や授業でテスト対策は積んでいたもので、内容というよりも、試験会場に無事に辿り着けるかが心配でした。出身が滋賀県なので、大阪は大都会というイメージで、緊張していました。万が一迷っても間に合うように早めに家を出ました。

T 私も大阪にはあまり行った事がなくて、けっこう迷いましたね、しかも試験開始時間も間違えているのを家出てから気づく！みたいなアクシデントもあって1回目は、当日の朝の思い出の方が強かったです。笑

- 二人とも無事たどり着いていただけで良かったです。

- JSAF（ジェイサフ）での IELTS テストはどうでしたか？（テスト当日のこと・受験生のサポート体制など）

S テスト当日は、受験会場が駅から近く、初めての場所でも迷わずにいく事ができました。建物の入り口や実施フロアに受験者に向けた張り紙や看板、あるいはスピーカーを使った音声の案内もされていたので視覚的にも聴覚的にも自身のすべき事が把握でき、わかりやすかったです。

T 受付スタッフの方がアナウンスを何度もしてくださり、今はコロナ禍で受験する人数が規制されている分、一人一人に気を配ってくださるので受付に戸惑うことはありませんでした。

- 会場ついてからのストレスはありませんでしたか？

S スタッフの皆さんの対応もとても良心的で、余計な緊張をする事なく受験する事ができました。あと試験中はロケット鉛筆の使い方が分からず芯を抜いて使っていたけれどスタッフの方がそっと付箋で案内してくれたので助かりました。

T 受験環境は私個人としてはペーパーテストよりもコンピューターテストの試験会場の机がひとりひとり区切られていて集中できる環境でした。スタッフさん方には2回とも道に迷い、ぎりぎりに来てしまった私に対してもとてもよくしてくださいました。本当にありが



「コンピューターで受験する IELTS」のテスト教室の様子。デスクはひとつひとつ区切られている。

- こんな風にしてもらったらもっとよかったとかはありますか？

S 会場の建物の前にも「IELTS 試験会場」と掲示があれば、より迷わないかなと思います。

水の持ち込みがカギに一

- IELTS は、テスト中のトイレに立てるタイミングがとても少ない（Writing テスト開始からの 50 分間と Reading テスト開始からの 50 分間のみ）ですが、そのあたりは大丈夫でしたか？

S トイレに行けるタイミングがこんなに少ないとは知らなかったけれど、対処できました。

T トイレは大丈夫でしたが、大阪の会場に行く際はバス停を乗り過ぎて、、、会場の近くにコンビニを探せなくて、すごいギリギリに会場に着いたので水も買えずで、自分でもっときちんと調べていけばなと思いました。水を飲まずで 3 時間頑張りましたが、喉はカラカラになりました。自分では耐えられるかと思いましたが、なかなかきつかったです。



テスト教室に持ち込みできるのは「ラベルを剥がした透明なペットボトルのお水」のみ。会場到着までにご用意ください。

- コンピューターで受験する IELTS の場合、コンビニと自販機はオフィスの裏手にもございますのでご利用ください。

テスト前日には**確認**を一

- IELTS を受験してみて、難しいと感じたセクションはありますか？その理由も教えてください。

T Speaking が苦手です。私は人見知り激しいので初めてコミュニケーションを取る試験官と二人きりというのは緊張してしまい、なかなかスムーズに話すことが、これだけ何度も受けた今でもなかなか難しいです。

S 僕にとっては、Reading が難しいです。実生活の中で制限時間内に多くの文に目を通す機会がないので集中力を保つのに苦労しました。

- 現在、同じように IELTS のスコア獲得に向けて頑張っている受験生へのアドバイスはありますか？

T 私自身、まだできているとは決して思わないのですが、Speaking テストの時に対面だからと緊張しすぎずにできるようにと心がけています。また、アドバイスと言うにはお恥ずかしいのですが、私は初めて行くときに場所がわからず、また、持っていくものも不十分だったので事前に場所もよく確認していくことをおすすめします。

S 私の場合は、受験会場到着までの移動中の時間に、イギリス英語の podcast 等を聞いて耳を鳴らすようにしていました。ぜひ実践してみてください。

「きちんとした姿を見せたいな」と思っ—

- 現在のコロナ禍において、ご自身の生活に変化はありましたか？

T だいぶ変わりましたねー。友達との勉強する機会とかが全部なくなって、勉強の相談をするにも先生が近くにいないし、実家暮らしなので友達ともそんなに気軽に電話もできなかったり。テストに関してもあんなに気軽に受けられたのにコロナ禍の緊急事態宣言が始まると受付も閉まって予約さえもできなかったの、つらかったですね。



- お友達とも会いづらくなったよね。

T 2021 年に入ってから友達とも会えずで、大学の授業もあるのでいつでも気軽に電話することもできずの状態が続いていますね。

- 1 年前ではこんな状況想像もしなかったですよ

S 僕も 2020 年春からの大学の上京予定がつぶれてしまって。高校時代の友達たちは比較的近い京都の大学にて対面でも授業をし始めているみたいなんですけど、僕は東京の大学なので完全オンラインで、とても孤独でした (涙)。

- 何を糧に、IELTS の勉強を頑張りましたか？

T つらい時とかも電話で励ましてくれたり、すごくお世話になった塾の先生方に、「きちんとした姿を見せたいな」と思っ、頑張ろうと思えました。お世話になった恩師の方々に対してどうか期待に応えたいと思っていました。

S 僕はオンライン上で多くの人とたくさんコミュニケーションを取る事で、友達の頑張りなどを知って励まされていました。

- オンライン上で？

S はい、同じ大学の英語のプログラムに参加している6人のメンバーがいて、同じ目標



をもって同じ授業を受けて zoom も何度も繰り返して。そのなかで仲間意識がすごく強くなって、その人たちと zoom で勉強や、勉強以外のことも話したりしてモチベーションを維持できていました。また昨年イギリス留学に行っていた先輩方とオンラインで交流する機会もあったり。自分の中で、人とコミュニケーションを取ることがストレスの解消になって、モチベーションを維持できていたと思います。

- 素晴らしいですね、その仲間の方たちとは対面であったことあるのですか？

S 1人 IELTS のテストの時に合ったことがあるのですが、それ以外の友達にはまだ一度も対面したことないですね。オンライン上だけです。

- すごいですね、オンラインだけだけどすごい絆が生まれているのですね。じゃあ実際6人対面で集まったら感動もひとしおですね。

S はい、早く会ってみたいです。

人とのつながりでコロナ禍を生きる—

- 今現在の夢はありますか？職業などお聞かせください。

T はっきりとしたものはないけれど、英語は世界のいろんな人たちと話せるツールだと思うので、もっと書いたり話したりできるようになって、身に着けた語学力を生かして自分の視野を広げていきたいです。

T 職業はまだ決まってはいませんがプログラミングとかやってみたいです。アメリカの大学にも留学に行ってみみたいです。

S 将来の夢は、客室乗務員です。叔母がカナダで CA として働いていてよく話をしてくれるので興味を持ちました。直近の目標としてはずっと目指してきた留学の「合格 (Foundation Course 入学内定)」をいただいたので、ちゃんと学位を取って修了できたらいいなと思っています。

S 個人的にイギリス英語に魅力を感じているので、イギリス英語をマスターしたいと思っています。留学予定のバッキンガム大学はイギリスの中でも国際性がトップクラスみたいで、ヨーロッパや世界各国のひとたちと交流を広げて行ければなと思っています。

す。

- 最後に受験生に向けて一言をください。

T 私の周りには医療関係者の方が多いので、一番最前線で働いている人たちの姿を見ることが多くて。こんな（コロナ禍の）状況でもそうやって一生懸命頑張っている方たちの姿を意識すると励みになって、自然と自分の勉強との向き合い方も違ってくるのかなと思います。みなさんも頑張ってもらえたらなと思います。

S このコロナ禍の状況は思った以上にとても「孤立する」んだなと感じました。zoomなどのオンラインのつながりがなかったら、僕も家族とバイト先の人としか話せていなかっただろうし。オンラインはある意味“逃げやすい環境”ではあるんですが、同時に目的意識を持った仲間の存在を感じれるところでもあって、とても心強かったです。一人で頑張るのもいいと思いますが、頼れる人がいるのならちゃんと頼ってほしいなと思います。それが自分の思っている以上に自分の力になると思います。

- 日本全国の同世代の学生の皆様にも響く応援メッセージありがとうございます！
これからもお二人それぞれの新たな道での健闘をお祈りしています。夢に向かって頑張ってください。



勉強や日々の過ごし方を取ってもお二人ともそれぞれ大きく異なり、取り組み方もそれぞれですね。コロナ禍でも自分の目標をしっかり持ち、工夫してモチベーションを維持しスコア

ップに成功したお二方、尊敬いたします。JSAF（ジェイサフ）では、これからもパンデミックに負けず、コロナ禍で頑張る受験生の皆さんを応援するとともに、安心してIELTSを受験いただける環境づくりに努めてまいります。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

ご拝読ありがとうございました。